ACE Hokkaido 教育とコンピュータ利用研究会北海道支部

NEWS LETTER Vol. 5.9. Sep. 1998





めでたい!事務局長ご成婚

事務局 吉田

MLやWeb等ですでにみなさんお聞き及びのことと存じますが、 北海道支部事務局長の青柳 貴文さんが9月19日大安吉日、千葉 淳子さんとご結婚召されました。

当日は速報新聞あり、ACE 北海道マルチメディア音楽隊あり、 デジタルリソース松澤さんと吉村前事務局長の合作マルチメディ アスライドショウありと盛りだくさんのお式でした。

マルチメディア音楽隊は、ACE 北海道のみなさまで構成され、 見澤先生のトランペット、野口先生のバンジョーといった、普段 なかなか生で聞けない楽器まで加わりビッグバンドで参加者の度 肝を抜きました。特に、IJ田中さんのスリーフィンガーと見澤先 生のトランペットの「鳴き」が効いてる「メモリー」にはビック



これがマルチメディア音楽隊だ!

IJ。

不肖吉田、また速報新聞の編集長を仰せつかり、披露宴の前に 行われたお式の方に潜入したのですが、失敗の許されない状況に 思わず当の二人より緊張してしまいました(http://onko.ncf.or.jp/ 980919/yagi.pdf)。

当日の模様はいつもの WebNoteClip によって速報されました。 http://onko.ncf.or.jp/kotobuki/frame.htmから見ることができます。め でたいですね。



りりしいヤギ。さすがだ。

披露宴に際して祝電、祝メールなどいただいたみなさま、本当 にありがとうございました。

新 100 校プロジェクト

北海道・東北地区活用研究会のご案内

事務局 青柳

文部・通産共同の学校接続プロジェクト「100校プロジェクト」 は、現在第2フェーズを迎え、「新100校プロジェクト」として活 動を続けており、北海道からは旭川陵雲高、歌志内中、札幌幌南 小の3校が参加していることは皆さんご存じかと思います。各地 区の「活用研究会(事例発表会)」が毎年秋に開催されているので すが、今回は ACE と NCF が北海道・東北地区大会を共催するこ ととなりました。

「新100校」の研究会ではありますが、発表は100校に限定しな い、ということで、基調講演は丸山先生(稚内北星短大)特別発 表は村田先生(標茶中)事例発表も大阪先生(旭川東鷹栖中)入 澤先生(大成高)と、ACEメンバーでがっちり固めました。参加 も、もちろん 100 校以外の方でもオッケーですので、どんどんご 参加ください。100名で締め切りですよ!

なお、この研究会は10月度のACE研究会をかねることになり ますので、お含み置きいただいた上、どんどん参加してください。

NEWS LETTER ACE 北海道

新 100 校プロジェクト 北海道・東北地区活用研究会のご案内 ~ 学校教育におけるインターネット利用に関する実践事例発表研 究会~

開催日時:平成10年10月30日(金) 10:00~16:00

会 場:札幌サンプラザ(2F 玉葉の間)

札幌市北区北24条西5丁目(TEL.011-758-3111)

定 員:100人(定員になり次第、締め切らさせていただきます)

参加費:無料

共 催:情報処理振興事業協会(IPA)

財団法人 コンピュータ教育開発センター(CEC)

教育とコンピュータ利用研究会(ACE)

ネットワークコミュニティフォーラム98(NCF)

後援予定:北海道教育委員会、札幌市教育委員会、札幌エレクトロニクスセンター

プログラム

(司 会:北星学園女子短期大学専任講師 武田亘明)

9:30 受付開始 10:00 主催者挨拶

(第1部)

10:10 基調講演:メディア統合の進展と教育

講師:稚内北星学園短期大学教授、丸山不二夫

11:20 特別発表:学校におけるインターネット導入から

運用までの実際

発表者:標茶町立標茶中学校教諭 村田城司

12:10 休憩

(第2部)

13:10 実践事例1:札幌市立幌南小学校教諭 藤村裕一 13:45 実践事例2:一関市立桜町中学校教諭 石澤祐治

14:20 実践事例3:旭川市立東鷹栖中学校教諭 大阪徳美

14:55 休憩

15:10 実践事例 4:東北学院中学高等学校教諭 名越幸生

(予定)

15:45 実践事例 5:北海道大成高等学校教諭 入澤幸博

16:20 閉会挨拶

16:30 閉 会

申込方法

下記事項をご記入の上、申込先までFAXでお送りください。ホームページ (URL http://www.cec.or.jp/CEC/) からも申込みできる予定です。

<必要事項>

- ・勤務先名
- ・所属
- ・職名
- ・氏名(ヨミガナ)

(以下は勤務先か自宅かを明記)

- ・郵便番号
- ・住所
- ・電話番号
- ・FAX 番号
- · e-mail

<申込先>

日本電気株式会社 文教システム事業部 事業推進部 活用研究

会担当宛

FAX.03-3798-2907

派遣依頼をご希望の方は、ACE北海道事務局までご連絡下さい。 (011-210-5506、aoyagi@hokkaido-np.co.jp)

平成10年度 市教委初任者研修終了

札幌発寒中 荒島 晋

9月24日、9会場4コースに分かれて本年度の市教委初任者 (今年採用になった先生)共通研修が開催されました。音楽ソフトコースには高橋先生@発寒西小、表計算ソフトコースには浅井先生@八条中、インターネットコースにはOZA鬼先生@北野台中と私とACE 北海道会員がその大半を占めていました。

さて、北野台中会場のネットワークは前日(秋分の日)の ACE 北海道が誇るテクニカル高本氏@ infosnow が登場し、sendmail やら fml やらをしっかり設定してくれました。他の 2 会場は…知りません ^^:

さて、当日北野台中会場に集まった幸せ者は総勢24名。二ツ山校長先生の「教育はカラオケに似たり」という暖かいお言葉に続き、いよいよ研修の始まりです。Netscapeを使って電子メールを実際にやりとりしたり、この日のために設定したMLを使ってみたり。(ちなみにこれは完全にイントラです)

何と言っても凄かったのは、「オンコの木チャットルーム」を使っての3会場コミュニケーションです。凄いのなんのって、講師が次に進もうとするのもはばかるほどの熱気でした。途中で乱入した半沢先生も驚くほど。なぜか、表計算ソフトコースのはずの浅井先生までも乱入してくる始末…。あげくの果てには担当指導主事の先生が業務連絡に使ったりして。受けました>大橋先生。

その次は鈴木教育ソフトの「ハイパーキューブフォーウインドウズ」を使ってホームページを作るという荒技に打って出ました。よく考えるとNetscapeのコンポーザーを使ってもよかったのですが、私の認識をかえるほど、Hyper Cube は WIN 版になって賢くなっていました。尾崎先生の「ファイルを征する者はコンピュータを制す」の大号令のもと各受講者が一生懸命にホームページ作りに取り組むのですが、ここで意欲やスキルの差があからさまになります。最後にはほぼ全員がホームページを完成させ?FDに大事に保存できました。メデタシ、メデタシ。(#しかし、あの後の北野台中のWinの壁紙の設定直すのはきっと大変だったでしょう^;)

最後に私からインターネットの教育利用についての講義でした。インターネットの光と影について、著作権についてなど少々辛口の話となりました。さらに尾崎先生からは「子供のためにやらないやつは教育界を去れ」というような超辛口の檄で締めくくられた有意義な研修でした。

今回の研修に参加された先生方も仲間に入って、明日の教育目指してがんばりたいと思います。

サイエンス QA ひろばスタッフ来札

さて、この日「サイエンス QA ひろば」のスタッフの前田氏@ JSTと原田氏@学研が来札しました。目的はサイエンス QA ひろばに参加する地域の学校のエリア拡大のために協力できるところはないかというものです。

NEWS LETTER ACE 北海道

北大出身の原田氏とすっかり意気投合して、「北野台中を中心に 札幌は協力できる!!」と大見得をきってしまったのですが後の 祭り(尾崎先生よろしくね)。最後は「学研の科学」の付録の担当 者をこんど連れてくる!という締めくくりでした。

サイエンス QA 広場 (http://qa.jst.go.jp/) については今後どのような形で協力できるか真剣に考えてみたいと思います。

興味のある方は荒島@札幌発寒中までご連絡ください。



Webです。いろいろと工夫もなされているようで。

国際協力フェスタ98のお知らせ

荒島@札幌国際理解教育研究会です。 標記のイベントの案内がきています。

-

開催日 平成 10 年 10 月 17 日 (土)・18 日 (日)

会 場 北海道国際センター(札幌)

リフレサッポロ 白石東地区センター

(いずれも,札幌市白石区本通16丁目南4)

実施団体

北海道,札幌市,国際協力事業団北海道国際センター(札幌) (社)北方圏センター,(財)札幌国際プラザ「地球市民の集い」 実行委員会,北海道国際理解教育 研究協議会スケジュール 10月17日(土)

時間帯/事業名/会場/定員/申込

13:00 16:30 / 国際協力セミナー / 北海道国際センター / 1 5 0 / 要 13:00 16:00 / 留学生と作る中国の家庭料理 / 白石東地区センター / 3 0 / 要 12:00 17:30 / NGO パネル展 / 北海道国際センター / なし / 不要

10月18日(日)

10:30 12:30 / 青年海外協力隊説明会 / リフレサッポロ / 2 0 0 / 不要 10:00 12:00 / 国際理解教育セミナー / 白石東地区センター / 6 0 / 要 13:30 16:45 / NGO フォーラム / リフレサッポロ・北海

道国際センター / 2 0 0 / 要 10:00 17:00 / NGOパネル展 / 北海 道国際センター / なし / 不要 17:00 19:00 / 地球市民のつどい / リ フレサッポロ / 1 5 0 / 要

参加申込先

・北海道総務部知事室国際課(011-231-4111(内線21-223))・国際協力事業団北海道国際センター(011-866-8393)・北方圏センター 国際協力部(011-211-2105)・「地球市民の集い」実行委員会(011-521-7578(水谷方))---

なお,18日(日)白石東地区センターで開催される「国際理解教育セミナー」については、『2002年から開始される総合的学習を視野において,これからの国際理解教育を進めていく上での課題と展望についてパネルディスカッション形式で行う予定です」とのことです。

パネラー: 本堂藤昭氏(在札米国領事館)

山内武道氏(札幌市立真駒内緑小学校長) 高橋承造氏(札幌市立西岡小学校長)

定員は一応60名で参加費は無料です。申し込み締切は10月1日 (木)

このセミナーに関しての問い合わせ・申し込み先は 札幌市立福 井野中学校 橋本フミエ教頭(札幌国際理解教育研究会事務局長) まで(〒063-0012札幌市西区福井6丁目12-10 TEL.011-663-1155 FAX.011-661-3572)

バーチャル雪まつり 1999 スタート!

VSF 代表 水越 洋

バーチャル雪まつり 1999(VSF99)がスタートします。

バーチャル雪まつりを一口に言いますと、インターネットによるコラボレーションとそのコラボレーションを元に実際の雪像を作り上げていくもので、「遠隔、コラボ、バーチャルから現実へ」というのがプロジェクトの大きな流れです。

これまで、100校プロジェクトやACE、こねっとプラン、メディアキッズなどのネットワークを活用した教育についての実践、研究がおこなわれてきました。しかし、各団体ごとの取組みの段階はすでに終わりに近づいていると思われます。これからは、各取組みのそれぞれの特徴を活かして、大きな視野にたった連携が重要となってきています。

この認識に立ち、バーチャル雪祭り(VSF)は、いろいろな団体がその党派を超えて、連携してすすめることを基本としてはじられ、バーチャル雪まつり実行委員会を編成して、その主管事務をACE北海道支部が担当して、実施されているものです。ここには、この主旨に賛同した、ACEや100校プロジェクト、北海道こねっとプランなどに参加している学校や個人が参加しています。

この考え方に賛同してくれた北海道放送(HBC)、北海道新聞社、経営情報センター、NTTなどの企業が応援してくれていて、札幌市雪まつり実行委員会は、それら全体を理解し、雪まつり実行委員会の正式プログラムとしてVSFを公認しています。

バーチャル雪まつりは、こうした考え方を基本に、もっともシンプルでだれでもが参加可能なインターフェースを用意して、常に多くの人に参加を呼びかけています。

昨年のバーチャル雪まつりは以下のURLをご覧ください。

NEWS LETTER ACE 北海道

http://www.miceng.co.jp/VSF1998/

さて、今年のプロジェクトの詳細はまだ決まっていませんが、



昨年のホームページです。ここからどんどん参加してほしいです!

今週末にもVSF99の立ち上げをして、これからの日程やコラボレーションの方法をみんなで決めていきたいと思います。「例年どおりのことをまたするのか、、、。」なんて決して思わないでください。新たな気持ちでみんなが参加できるようなコラボレーションを目標に、みんなでゼロからスタートしVSF99を作り上げていきたいと思います。

ぜひぜひ参加しましょう!

メディアハンティングに600件の応募!

事務局 吉田

みなさん、北海道発のデジタルコンテンツのコンテスト、「メディアハンティング 98」をご存じでしょうか。今年初めての試みとして行われたメディアハンティングに対して全国、全世界から600件の応募エントリーがありました。ここから将来のデジタルクリエイター達が巣立っていくこと間違いなしです。

4年前から「マルチメディアバトル」に取り組んでいた我々に とってはこういった試みが一般に認知され、広まっていくのは喜 ばしいことです。

12月2日には発表のイベントも行われます。みなさん是非注目しておいてください。

http://www.aurora-net.or.jp/event/hunt/

編集後記

秋と言えば蕎麦ですね。ここ最近東京に出張に行っても時間がなくて神田の「まつや」にいけず、欲求不満状態です。先日石山の「正直庵」にぶらりと行って、せいろと鴨南をいただきました。札幌の蕎麦屋はつゆが辛くないのが難点ですが、香りを大切にするべく店内が禁煙という心配りがうれしいです。 (吉田)

先月の編集会議に参加できず、久しぶりの参加になったのですが、道新情報開発本部の様子がかわっていてびっくりです。模様替えされたんですねぇ。・・・はいいとして、今年度札幌ソフトウェア専門学校でも一般・社会人向けの講座を開講しているんですが、生涯を通して学びたいという人達、特に年輩のバイタリティ溢れる方々が非常に多いですよね。そういう方々にお会いすると、こちら若手も負けてはいられないなぁ!って気になります。やっぱり「勉強したい!」という知的な好奇心、探究心の強い人は、いつまでも若くしていられるものなんですね。というわけで皆さんも月末、お時間ありましたらACEレター編集会議に遊びにきて下さいね。皆さんの知的欲求を満たす教育的な話題?とドーナツ・お茶を用意してお待ちしております。さて、これから一般講座のテキスト作成でーす、がんばりまーす。(見澤)

先週は墓参りもせず、初任者研、札教研、JSTとのミーティングなど超多忙な毎日でした。おまけに職体サッカーはいよいよ明日西地区の決勝戦を迎えます。無事これ名馬とはいうものの充実しているときこそ落とし穴があるものです。しかし、そんなことも言っていられないほど学校は今の時期忙しいです。しかし、21世紀に向けて学校が変革する時期が足音を立てて近づいてきています。真剣に教育を考えられない者は去る時代が本当にやってくるのかもしれません。さて、転職情報誌でも化って買って帰るか…さて、みんながんばろう! (荒島)

先日無事婿入り?を果たしたオスヤギでございます。いやーみなさん披露宴では大変お世話になりました。ホームページでは事前メッセージの受付とリアルタイム中継(大橋先生ありがとう)会場では式の様子を盛り込んだデジタル速報新聞の発行(大野さん、吉田編集長感謝!)そして余興のマルチメディア音楽隊(武田隊長ともろもろみなさん大活躍)と感動の大作ビデオ「ヤギの宅急便」(吉村さん、松澤さん短期間でよくぞあそこまで)さらには2次会までのデジカメ総力取材(大杉さん、由水先生さすがはデジカメオク!)と、ACE&NCFてんこ盛りの1日でした。不肖オスヤギは、改めてACE人間ネットワークの底力に感激し、決意も新たに事務局業務に邁進するのでした。めぇぇぇぇぇ。

(青柳)

青柳さん結婚披露宴音楽隊として久々にパンジョーの練習をして 熱くなりました。どうみてもおじさん音楽隊だったのですが、あ の短時間の練習で形ができるとは気合いは20代でしたな。これを 機にレパートリーを増やそうと、ちょっとだけまじめに思ぅ 撃 た。さあ、次はだれかな。>編集長(^^) (野口)

人生の転機というものは、いつなんどきやってくるか解らないものだ。ぼくなんか、ずーっと待っているけどさっぱりやってこない。どんなことがあっても七転び八起きだとか、一生懸命やってるのに七転八倒だとか、実は転機だらけとも言えるかも。まあ、自分の意志に関係なく転がっていくのが人生かもしれない。まったく、ころころ転がって思うようにならないあたりを楽しむしか楽しみもない毎日じゃぁ~。 (武田)

教育とコンピュータ利用研究会 北海道支部 1998年9月29日発行